

基地渉外

浦添で起きた主な事件事故年表

平成21年5月現在

発生年月日	事件・事故の内容
昭和42年 7月24日	タクシー運転手が米兵に刺殺される。運転手仲間らが犯人を追跡逮捕。
昭和45年 5月28日	牧港第二兵站部隊内で黒人兵が早朝出勤途中の女子雇用員に対し婦女暴行未遂。8月の軍事裁判で無罪判決。
昭和48年 2月20日	牧港補給地区でクリーニング・コンパウンド剤の溶解作業中、風で同剤の原粉が飛散。日本人従業員が喉や眼の痛み等を訴え、周辺で作業中の日本人従業員約180人が建物外に避難。
昭和49年12月19日	牧港補給地区内に野積みのまま放置されていた薬物が容器の腐食で海へ流出。昭和50年3月25日まで数回にわたり発生。
昭和50年 8月12日	牧港補給地区内の自動車整備場から車体洗浄用薬剤の(パウンドBクリーナー)が流出し海岸一帯を汚染。
昭和51年 2月12日	牧港補給地区内で軍需物資の害虫駆除に作業員が身体の異常を訴え帰宅後意識不明の重体となる。体内から許容基準をはるかに超える500ppmの臭化メチルが検出された。
昭和63年 2月29日	普天間飛行場所属のCH-46シーナイト・ヘリコプターが飛行中に機内の警告ランプが点滅。牧港の市民グラウンドに緊急着陸する。
平成3年 9月20日	牧港の国道330号線で海兵隊員運転の5トントラックがスリップ。電柱に衝突、水銀灯等を破損。付近一帯が1時間停電。
平成4年 5月19日	牧港の県道で米軍の大型トラックがガードレールに激突し横転。県道が5時間にわたって通行止めとなる。
平成5年 9月21日	市内国道で、牧港補給地区所属の海兵隊員運転の米軍ピックアップが誤って対向車線に侵入、逆走、中央分離帯に乗り上げた。長時間渋滞が続いた。
平成8年 2月 3日	牧港補給地区内で民間の建設作業員が掘削作業中に、目・鼻に刺激を受け気分が悪くなる事故発生。
平成8年 7月25日	沖縄自動車道西原インター出口付近の国道330号線で、米軍の大型トレーラーから二機の発電機が路上に落下。道路補修まで長時間渋滞。
平成8年12月10日	牧港の国道330号線で、米軍5トントラックが道路左側の表示灯に激突、転覆。兵士1人が死亡。
平成9年11月13日	牧港補給地区内倉庫で火災発生。次亜塩素酸カルシウムが燃焼。付近住民が一時避難するパニック起こる。
平成12年 5月31日	劣化ウラン弾薬きょう473発が西原町の民間地域に放置されていることが新聞報道で明らかになる。
平成12年 6月12日	盗難車を運転し衝突事故を起こした牧港補給地区所属の一等兵(21)が現行犯で逮捕される。
平成12年 7月 3日	タクシーに損害を与えた白人男性の逃走を手助けしたとして牧港補給地区所属一等兵(19)が逮捕される。
平成13年 3月31日	海兵隊員の軍曹が、浦添市内の食料品店の駐車場に駐車していた食料品店所有の車両を窃盗。キャンプ瑞慶覧の憲兵隊が身柄を拘束。
平成13年 6月 8日	港川の路上で嘉手納空軍軍属の自動車整備工と在沖海軍所属の家族少年が車中からBB弾を歩行者に対し数発発射。取調中、被疑者の車内から大麻が発見され、大麻取締法違反で逮捕。
平成13年10月26日	西洲海岸に、米軍用訓練弾らしき砲弾が漂着し、浦添警察署が保管。
平成14年 1月 3日	北谷町美浜にて牧港補給地区に居住する海兵隊員の子ども等が、北中城村在住男性の乗用車を横転させ、ドアミラーやドアを破損させ車両で逃走。
平成14年 6月30日	浦添市内で在沖海兵隊上等兵が交際相手の女性に対する傷害罪で

	逮捕。米軍憲兵隊へ身分紹介の結果、脱走兵として手配されていたことが判明。
平成14年 9月 9日	キャンプ・コートニー所属の米海兵隊一等軍曹運転の乗用車が、国道58号北谷交差点において浦添市宮城の男子高校生の運転するオートバイに衝突し、そのまま逃走。ひき逃げ犯として逮捕されるが、高校生は重体。
平成14年10月13日	北谷町美浜の国道58号で、軍人家族の少年(19)が運転する普通乗用車が信号無視をし、交差点に進入した浦添市在の女性の普通乗用車と衝突。女性は骨盤骨折、同乗の男性もろっ骨骨折の重傷。
平成15年5月28日	牧港の国道58号で、米軍キャンプ・バトラー所属三等軍曹運転の普通乗用車が、縁石を乗り越え、道路わきの電柱に衝突。事故の影響で南向け車線が、事故現場から北谷町北前付近まで最長約6キロ渋滞。
平成15年 6月19日	伊祖の国道330号で米軍車両がスリップし、歩道に乗り上げる事故が発生し、渋滞区間は最大十キロに及んだ。
平成15年 8月17日	牧港の国道58号で、北上していた米軍トラックが車線変更の際に乗用車に接触し逃走。同トラックを運転していた米海兵隊キャンプ・ハンセン所属の二等兵が浦添署に出頭し、道交法違反(当て逃げ)容疑で検挙。
平成17年 5月24日	市内に住む小学五年の男子児童の保護者から「子どもがトラックと接触し、肩をけがしている」と警察に届け出があり、「トラックは迷彩柄で、迷彩服を着た外国人の男性が複数乗っており、そのまま那覇向けに走り去った」との証言であったが、目撃者はなく確認はされなかった。
平成17年10月14日	浦添市屋富祖の国道58号沿いの牧港補給地区で、武装した米兵数十人がライフル銃を国道側に向けて訓練を実施。同基地副司令官が市長を訪ね、「訓練が許可地域外で突発的に行われた」と説明し、住民に不安を与えたことを謝罪。再発防止に向け兵員の教育を徹底するとともに、今後は海側で訓練を行うことを約束。
平成17年10月27日	牧港補給地区内で火災警報機が作動し、米軍普天間飛行場などから緊急車両が出動。浦添市消防の問い合わせに対し、「郵便物が燃え、警報機が鳴ったために出動した」と回答。
平成17年12月24日	那覇署はタクシーの屋根をへこませたとして器物損壊の容疑で牧港補給地区所属の海兵隊上等兵(22)を現行犯逮捕。同容疑者を連行しようとした警察官に抵抗したとして、同基地所属の上等兵(25)を公務執行妨害の容疑で現行犯逮捕
平成18年 9月21日	那覇署は窃盗の疑いで、牧港補給地区所属の二等兵(20)を逮捕。同容疑者は那覇市久茂地にあるクラブで女性店員が席を外した際、椅子にあったバッグを盗んだ疑い。別の客がこれを見ており、被害女性が110番通報した。
平成18年10月11日	午前8時20分頃、浦添市屋富祖の国道58号で、牧港補給地区陸軍所属のトラックが積載していたショベルカーが、走行中に歩道橋にぶつかり、道路上に転落。この事故で那覇向け車線が交通規制され、出勤ラッシュの時間とも重なり渋滞。巻き込まれた車両やけが人などはなく、ショベルカーは同10時45分ごろに撤去され、同時に交通規制も解除された。
平成19年 1月30日	牧港補給地区内の通信用とみられる鉄塔が倒れる。現場は、同市港川地区と接するが、被害は特になし。
平成19年 5月31日	浦添市港川の国道58号で普通乗用車と米海兵隊の大型トレーラーが接触事故。けが人はいないが、事故処理のため、国道が約3キロ渋滞。
平成20年 2月19日	うるま市等で19年秋に偽20ドル札が見つかった事件で、県警は牧港補給地区に所属する20代の在沖繩米海兵隊員を外国通貨偽造・同行使の疑いで書類送検する方針を固める。
平成21年 4月27日	27日キャンプキンザー内の倉庫の污水管から異臭のする液体が漏れ出し、4、5日前から日本人従業員6人が先週から不調を訴え、2人に湿疹とどの痛みの症状が出ているという。市消防本部によると、27日午後2時35分ごろ在沖海兵隊から建物から異臭がする。何かあった時のために救急車を配備して欲しいとの要請があった。現場は

	727と記された倉庫。米軍側は米軍独自に調査し、後日報告すると沖縄防衛局に伝えてきたとのこと。なお、体調不良を訴えていた従業員8人が28日民間病院を受診、異常ないと診断され、全駐労によると29日から再び勤務に就くという。
平成21年 5月16日	16日午前3時20分頃、那覇署は、那覇市牧志の飲食店の石柱やガラスにラッカーズプレーを吹きかけ落書きしたとして、米軍キャンプ・キンザー所属の米海兵隊上等兵を現行犯逮捕した。米兵は酒に酔っており、別の場所にも落書きした可能性があるとして調べている。
平成22年 5月18日	4月9日午後11時40分頃、キャンプ・キンザーゲート前でタクシーの釣銭箱を奪って逃走していた事件で、浦添署は18日、在沖米海兵隊キャンプキンザー所属の上等兵の男を書類送検した。
平成22年 7月27日	27日、キャンプ・キンザーのフェンスが切断されていることが分かった。県警によると内部から切断した可能性が高いとみている。切断現場は港川の基地内の米軍人用高層住宅地域の近くで、地面に向けて1メートル縦に裂かれていた。同基地では18日にも国道58号線沿いで横幅36センチ、縦幅54センチの穴が見つかった。
平成22年 8月14日	宜野湾署は14日、タクシーの釣銭箱を盗んだとして、キャンプ・キンザー所属の米兵少年を窃盗容疑で逮捕した。
平成23年10月13日	13日午前0時20分頃、浦添市のキャンプ・キンザー第二ゲート先の国道58号で、米軍の大型7tトラックが故障し、北向け2車線を斜めにまたいで停車し、約3時間にわたり交通が規制された(渋滞は無かった)。浦添署によると、ハンドル系統のオイル漏れが故障の原因とみている。
平成23年12月3日	浦添署は3日、浦添市内の住宅敷地内に理由なく侵入した疑いで在沖米海兵隊キャンプ・フォスター所属の上等兵を現行犯逮捕した。
平成24年 2月13日	13日午後3時半過ぎ、浦添市仲西の国道58号沿いのキャンプ・キンザー内のフェンスに面した場所で、米兵が銃を持って訓練している姿が見られた。この件に関して同基地司令官は15日、浦添市役所に儀間市長を訪ね、基地内の禁止区域で訓練が実施されていたことを認め、市民に不安を与えたことを謝罪した。

最近の事件・事故

1) 米軍牧港基地での訓練について

- ・発生日時：平成24年2月13日
- ・事故概要：2月末から北海道で行われる陸上自衛隊との合同演習の予備訓練として、牧港補給基地内の浦添市仲西の国道58号線沿いのフェンス近くで米兵数十名が銃を所持又は構えるなどして訓練を行った。
- ・被害者数：0名
- ・事故原因：補給や機械の整備を行う工兵隊の約40人が移動をしながら訓練を行っており、その過程において禁止区域で訓練が実施された。
- ・市の対応：2月15日にキャンプキンザー司令官へ、「国道58号線沿線において市民の恐怖感を与えるような訓練を禁止すること」、「隊員・幹部に対して、沖縄県民の歴史認識や市民感情等に配慮するという基本的な教育を徹底すること」を再度要請し、再びこのようなことが起きないことを強く申し入れた。
- ・議会対応：同年2月20日、臨時議会において、米軍牧港補給地区での訓練に対して、再発防止と日米地位協定の抜本的改定を求める抗議決議と意見書を可決し、関係要路へ提出する。

2) 牧港補給地区における異臭騒ぎ

- ・発生日時：平成21年4月27日
- ・事故概要：キャンプキンザー内の倉庫の污水管から異臭のする液体が漏れ出し、4、5日前から日本人従業員6人が先週から不調を訴え、2人に湿疹とのどの痛みの症状が出た。
- ・被害者数：9名
- ・米軍調査結果：当該倉庫で従事していた従業員からの聞き取りでは3名中2名は、「空

気中の異臭は感じなかった(若しくは気づかなかった。)、湿疹の原因は「埃に起因するもの」と示唆するとの報告があった。

- ・市の対応：5月11日、キャンプキンザー司令官へ異臭事故について抗議文を手交。また沖縄防衛局長にも要請文を手交。
- ・議会の対応：同年5月22日、臨時議会において、安全管理を徹底し再発防止を図り、危険物を速やかに撤去することも求めた意見書と抗議決議案を可決し、関係要路へ提出する。

3) 牧港補給地区における銃器使用による訓練の実施

- ・発生日時：平成17年10月14日
- ・事故概要：物資輸送中に武装ゲリラに車両が襲われた際を想定した訓練を、突発的に国道58号線沿いの地域にて実施。国道に向けてライフル銃を構えるなどの訓練を行った。
- ・被害者数：0
- ・事故原因：新任の士官が訓練を指揮したため、同地域が訓練の許可地域外であることを認識していなかったことによる。
- ・調査結果：米軍の説明では、事務引継時の確認の誤りによるものとする。
- ・市の対応：訓練実施に関する釈明と今後の再発防止の徹底のための兵員の教育を申し入れる。
訓練運用改善を要請する。
- ・議会の対応：同年10月21日、臨時議会において、同基地での車両縦列護衛訓練に対して、再発防止と日米地位協定の抜本的改定を求める抗議決議と意見書を全会一致で可決し、関係要路へ提出する。

浦添市 企画課[参考文献・沖縄タイムス社・琉球新報社]